



ECHO OHARANO
KYOTO 2023

OHARANO STUDIO GALLERY

ECHO OHARANO

会場A: OHARANO STUDIO GALLERY

2023.2.10 [金] - 2.27 [月] ※金・土・日のみ開催

12:00 - 17:00 [入場無料]

※他曜日をご希望の場合は事前にご予約ください

※最終週のみ月曜まで開催

会場B: 正法寺

2023.2.10 [金] - 2.27 [月]

9:00 - 17:00 [拝観料300円]

イベントA [参加費500円]

2023.2.12 [日] 13:00 - 16:00

会場: OHARANO STUDIO GALLERY

『尾上 宗西氏による出張茶会 ×

松崎 陸氏とサンスン氏による企画展の解説』

2023.2.18 [土] 13:00 - 16:00 会場: 正法寺

『尾上 宗西氏による出張茶会 ×

松崎 陸氏とサンスン氏による企画展の解説』

イベントB [拝観料300円 + 参加費500円]

2023.2.19 [日] 会場: 正法寺 宝生殿

『廣海 充南子氏による曼荼羅公開制作 ×

廣海 充南子氏とサンスン氏による作品批評 ×

村木 悦子氏によるおりん演奏』

※境内の拝観時間内に公開制作を予定

イベントC [拝観料300円 + 参加費1000円]

2023.2.26 [日] 会場: 正法寺

『ゼイン氏によるファッションを通じた禅体験 ×

マイク氏によるポートレート撮影 ×

村木 悦子氏によるおりん演奏』

Uni Cycle



ECHO OHARANO KYOTO 2023

絵画、陶芸、写真、ファッション、工芸、茶道など、分野と国籍が異なる10人の国際的な芸術家たちが京都大原野で芸術作品を展示する。本展のテーマ「Uni Cycle」は、一つの円に回転して動く一輪車を意味することもあるが、人間の生と死を通じて私たちが毎日発見する果てしない反復性に対する問いだ。同じ繰り返しだが、時間と空間の流れの中で行われるため、一度も同じではない動きを芸術家の視点を通じて披露する。回転する「Uni Cycle」に体のバランスを維持しなければならないように、常に起きている者であり、風変わりさに興味を持つ芸術家たちの多様な悩みは、私たちに再び無限の反復の中で違いを感じさせる。それぞれが自身の中心軸を維持しつつ、世の中を自由な思考で巡る芸術家たちに会おう展示となるだろう。

ベ サンスン (韓国 - アーティスト)
Bae Sangsun

2002年武蔵野美術大学造形研究科美術専攻修了。2003年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(版画専攻)交換留学生。2008年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程満期退学。その後は、韓国と日本を行き来しながら京都を拠点に国際的に活動する。木炭によるモノクロームの絵画では、静謐かつ力強い作品を制作する。その他、紐や結びをモチーフにしたインスタレーションや陶芸作品を発表する。

イスンヒ (韓国 - アーティスト)
Seung-hee Lee

1958年韓国生まれ。教育清州大学工芸科卒業。自身が眺める対象を通じて世界を表現する。その表現媒体が絵画にせよ、彫刻にせよ、工芸にせよとして、その表現方式が事実にせよ抽象的にせよもしくは、オブジェ自体を利用するにせよ作家は物事という対象を通じて世界を眺める。特に、朝鮮時代の白磁を描く。そしてそれを事実に描写する。彼が画面で指示する対象が具体的という意味である。朝鮮白磁がまさにそれである。

松崎 陸 (日本 - 染色家)
Riku Matsuzaki

1990年京都に生まれる。22歳の時にNYで藍染に出逢い、帰国後に愛媛県西予市で養蚕から手織り、和裁までを一貫して学ぶ。その後、江戸時代から続く染め工房 染司よしおかへ入門染色の技術を磨き、正倉院宝物の復元に携わる。染司よしおか独立後、天然染色ブランド「Riku Matsuzaki」を立ち上げ「命の色で命をつつむ」をコンセプトに商品製作をする。現在は天然染色の技法を使い素粒子をテーマにアート製作を行う。

吉田 マリモ (日本 - デザイナー)
Marimo Yoshida

京丹後市出身。フリーランスのデザイナー兼クリエイター。大学時代「環境と人をつなぐアートの役割」を学び、在学中から野外展示を中心に活動。梅小路公園ランドアート、有馬温泉路地裏アートプロジェクトなど、さわって遊べるphysical touch artのオブジェ展示を行う。2020年、京都・大原野へ移住し、活動を再開。すべての生命は女性から生まれ、最後は土に還る。自然のサイクルとパワーを、さわって鑑賞できる作品から伝える。

ゼイン ジョンソン (アメリカ - アーティスト)
Zane Johnson

ニューヨークのファッション工科大学(FIT)卒業後、書道、空手日本文化を学ぶべく大阪へ移住。東洋と西洋のデザイン美学を融合させながら、カスタマイズされた衣服をデザインする。日本の衣服を表したハンドメイドブランドHINOMARUを立ち上げる。HINOMARUは作務衣が私の身近な存在であり続けるため、新しいデザインに挑む。素材は日本製のものを使い、技術の継承を考え、一着ずつ人の手によって製作される。

マイケル ウィットル (イギリス - アーティスト)
Michael Whittle

ブラッドフォード大学(英国)で生物化学を研究。大学卒業後、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの大学院を修了。2012年京都市立芸術大学大学院の博士号を取得。作品のモチーフとなっているダイアグラムは、科学では古くから実験や現象のデータを視覚的にわかりやすく表すために用いられる。ダイアグラムの厳格で客観的な科学的な美的世界に着目し、アートの文脈でダイアグラムの可能性を拡張すべく制作活動を行っている。

マイク ディンスモア (アメリカ - 写真家)
Mike Dinsmore

カリフォルニア出身。カリフォルニアポリテクニク州立大学でアートとデザインを学んだ後、大阪に移り住み、現在に至る。被写体への最大限の配慮と尊敬の念により、彼の写真は自然で正直でありながら、超現実的かつ遊び心のあるものとなっている。有機的な形の不完全さと豊かさ、幾何学的な形の粗いエッジと平坦さとを並置することにより、顕在化した空虚で不明瞭な力を探究する。

松尾栄太郎 (日本 - アーティスト)
A-taro Matsuo

1977年長崎県佐佐木町生まれ。1998年京都造形芸術大学彫刻科を中退し、故井田照一のアシスタントとなり、国内、アメリカ各地での制作や展覧会に携わる。2007年の初個展以降、毎年国内各地で個展を開催。土、紙、版画などを素材とした作品が多く、近年では、焼いた紙の焦げ目を視覚的に見る最終的な物質と捉え、焦げ目を素材とした立体的思考でコラージュ作品を制作し、独自の表現を確立し展開している。

廣海 充南子 (日本 - アーティスト)
Hiromi Minako

1983年、大阪府に生まれる。2000年ダライ・ラマ法王の講演を聴講し、現代美術として、ボーダーを越えようとする曼荼羅を作品として表現する事を決意する。後、京都造形芸術大学にて学び、途中退学後、単身スペインに渡る。帰国後は福祉職に就く。現在も日中は福祉施設専任のアートディレクター、夜間に日中の出来事や「縁」をフィードバックさせるような想いで曼荼羅を循環させるように描いている。

尾上 宗西 (日本 - 茶人)
Onoue Sousai

茶道石川流教授・煎茶道二條流師範。茶道・禅(仏教)・食・カルチャー・アート・デザイン・建築など多角的視点で、古典を軸とした現代の茶の湯を提案するティースタジオを主宰(2023年春 中宇治にオープン予定)『非日常(ハレ)』と『日常(ケ)』の境界で茶の魅力を読み解き表現している。大学在籍時から茶農家での業務を経験。老舗和菓子工房への就職を経て、現在は平等院の初代茶房長を務める。

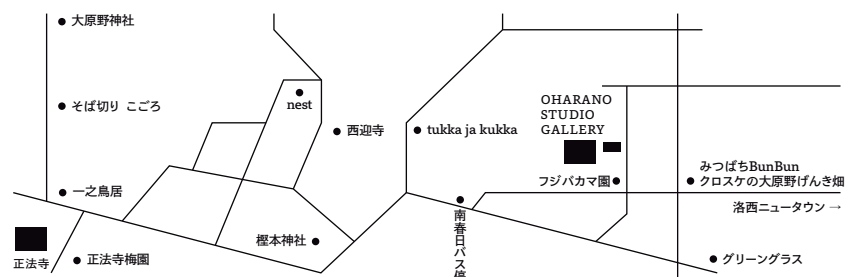
会場A: OHARANO STUDIO GALLERY [入場無料]
2023.2.10 [金] - 2.27 [月] 12:00 - 17:00 ※金・土・日のみ開催
※他曜日をご希望の場合は事前にご予約ください / ※最終週のみ月曜まで開催

会場B: 正法寺 [拝観料300円]
2023.2.10 [金] - 2.27 [月] 9:00 - 17:00

イベントA [参加費500円]
2023.2.12 [日] 13:00-16:00 会場: OHARANO STUDIO GALLERY
『尾上 宗西氏による出張茶会×松崎 陸氏とサンスン氏による企画展の解説』
2023.2.18 [土] 13:00-16:00 会場: 正法寺
『尾上 宗西氏による出張茶会×松崎 陸氏とサンスン氏による企画展の解説』

イベントB [拝観料300円+参加費500円]
2023.2.19 [日] 会場: 正法寺 宝生殿 ※境内の拝観時間内に公開制作を予定
『廣海 充南子氏による曼荼羅公開制作×廣海 充南子氏とサンスン氏による作品批評×村木 悦子氏によるおりん演奏』

イベントC [拝観料300円+参加費1000円]
2023.2.26 [日] 会場: 正法寺
『ゼイン氏によるファッションを通じた禅体験×マイク氏によるポートレート撮影×村木 悦子氏によるおりん演奏』 ※試着、撮影、瞑想、書道、作庭などのプログラムを予定



主催: OHARANO STUDIO GALLERY
〒610-1153 京都市西京区大原野南春日町 544-26
080-6128-9609 / oharanostudio@gmail.com
www.oharanostudio.com

共催: 正法寺
〒610-1153 京都市西京区大原野春日町1102
https://kyoto-shoboji.com
www.instagram.com/shoboji_hojusan/

